文化伝承館のかじのきと七夕

文化伝承館の庭園の植栽をご覧になったことはありますか。白梅などが人気で、その花の時季には、庭園に隣接したところに紅梅もあり、紅白の花を楽しむことができます。また、紅梅の隣には河津桜もありますので、早春にはこれらの花を観賞するために訪れる人びとが少なくありません。

さて、庭園の植栽の中に、おもしろい形の葉を付けた樹木があります(右写真)。

切れ込みの入った葉、これはかじ(梶)のきの葉です。

かじのきは、くわ科こうぞ属の落葉高木とされます。





くわの葉に似ていますが、これもかじの葉



切れ込みのない葉。これもかじの葉

ただし、切れ込みが入るのは若葉で、切れ込みのない葉を掲載する図鑑もあります（右写真）。

「かみのき」という異称もあり、樹皮から紙を作ったとされます。和紙の原料であるこうぞは、ひめこうぞとかじのきの雑種と説明する図鑑もあります。

紙の原料だけでなく、かじの葉を紙の代用のように使っていたという話もあります。七夕（たなばた）のときに願い事を書いて笹に付けるのは、現在は紙の短冊（たんざく）ですが、以前はかじの葉に書いたそうです。

ところで、この七月七日の七夕は、織姫・彦星が一年にこの日だけ会えるという物語を伴って、笹を飾る身近な祭りですが、実は複雑な背景があるようです。

古代中国においては、奇数を「陽数」と呼び、めでたい数字とされていました。七月七日は陽数が重なるめでたい日です。

一方、星にまつわる鷲座のアルタイル牽牛星（けんぎゅうせい）と琴座のベガ織女星（しょくじょせい）が天の川を挟んで見えることからつくられた物語は、古代中国から日本に伝わり、彦星と織姫の説話となったようです。また、同じく中国から奈良・平安時代に日本に伝えられた「乞巧奠（きこうでん）」という祭りは、お供えをして手芸が「巧（うま）くなることを乞（こ）い願う」祭りで、これと日本にあった機を織る女子（棚機つ女＝たなばつめ　棚機は横板のついた織機）が神をお迎えする信仰とが合わさり七夕の行事になり、古代においては貴族階級が行っていたものが、江戸時代に至り庶民にも広がった、とされます。複数の要素が、七月七日という特別な日にまとめられた、ということでしょうか。

この一連の行事の中で、「かじの葉」が飾られる物の一つであったとされます。そして前述したように、和紙が一般化する江戸時代以前は、かじの葉が短冊の役割を果たしたとのことで、葉に和歌などを墨書し、習い事の上達を願ったものが、短冊に願い事全般を書く、と変化してきたということです。

また、七夕は本来旧暦の七月七日の行事であり、新暦では約１ヶ月後となります。今年は八月十日が旧暦の七月七日に当たり、その３日前は「立秋」です。すなわち、七夕は本来初秋の行事で、そのため秋の季語とされています。

八千代市文化伝承館だより

令和６年甲辰　旧暦七月

継
Ｋｅｉ

2024．8．10 No. 26
編集
発行　八千代市文化伝承館
〒276-0043　八千代市萱田 460-3
電　話　047-484-9011(郷土博物館)
ＦＡＸ　047-482-9041(郷土博物館)
メール　kyoudo@city.yachiyo.chiba.jp

令和５年度事業報告

令和５年度は新型コロナウィルス感染症が５類に移行され、世の中はほぼ正常に戻りました。文化伝承館では、主催事業として、「重陽の節供におくる邦楽演奏会」、「紙芝居と昔話の会」、「八千代の民俗文化再発見」、「子ども邦楽教室」、「茶道教室」を実施しました。八千代市三曲協会、本だいすき!の会、八千代市茶道連盟の皆様のご協力のおかげです。御礼申し上げます。あわせて、ご参加いただいた皆様にも感謝申し上げます。今後も、さらなる主催事業の再開を目指します。

令和5年度の利用状況

開館日数　244日
主催講座　32回674名　伝統文化団体の利用 339回3,391名　その他の団体の利用 146回 2,104名　見学・遊具利用など 1,198名　計7,367名
紙芝居などの館外貸出　18件

刊行物　8月１日(火)「継」25号の刊行

令和5年度の文化伝承館の主なできごと

４月19日(水)「紙芝居と昔話の会」第１回を実施。以下、５月17日、６月21日、７月19日、９月20日、10月18日、11月15日、１月17日、２月21日、３月６日（いずれも水曜日）に実施。(全10回)

５月18日(木)バンコク子とも親善大使、茶道体験

７月22日(土)「子ども邦楽教室」第１回を実施。以下、７月29日、８月５日・19日、９月２日・16日、10月７日、11月11日・12日、12月９日、１月13日、２月17日、３月２日・３日（11月12日と３月３日は日曜日、他は土曜日）に実施（全14回）

10月22日(日)「重陽の節供におくる邦楽演奏会」実施。

２月３日(土)「茶道教室」第１回を実施。以下、２月10日・17日、３月９日・16日・23日（いずれも土曜日）に実施。（全６回）

３月14日(木)萱田小学校３年生、施設見学で来館。

３月24日(日)「八千代の民俗文化再発見～八千代の獅子舞」を実施。

施設・物品の修繕

研修室のブラインド・エアコン・照明、和室のロールスクリーン・畳(すべて)・エアコン・照明、身障者用トイレの自動水栓、ロビーの煙感知器、屋外の汚水枡・配水管



バンコク子ども親善大使
茶道体験



重陽の節供におくる邦楽演奏会



萱田小3年生施設見学